

語彙

2013年中国の新語・流行語

趙蔚青

言葉は時代とともに変化する。流行語はとりわけ社会の動きを最も敏感に反映する。毎年の流行語を見ることによって、だいたいその年の大きな出来事や人々の関心事が分かる。本文は、主にネットユーザーのクリック数を基に専門家のコメントを加えた「互動百科」の流行語ランキングを参考に、人名などの固有名詞を排除したうえで、2013年の新語・流行語について20項目を選出し、整理・説明するものである。

2013年の新語・流行語は、①特別な人たち、②人々の考えや感じ、③出来事、④特別な現状、⑤コミュニケーション様式などに集中している言葉が多いかと思われる。以下、その順番で説明することにした。

また、新聞を基礎とする新聞社サイトでの使用を把握することによって、各地の伝統メディアにおける使用状況がある程度明らかにすることも試みた。

1. 土豪 (tǔ háo, 成金)

2013年に一番話題になった単語が“土豪”だということは誰からも異議はないであろう。分かりやすく言えば、“土豪”は「田舎くさい成金」のことで、金遣いが荒く品がない自慢好きな金持ちを言う。横柄で、マナーの欠如、財力の誇示など成金趣味を揶揄するマイナスイメージの言葉として使われてきている中、徐々にではあるが、単に「金持ち」という意味で中立的に、または憧れの対象としてややプラス的にひそかに使われることもある。

ネットの書き込みの寓話で事実ではないが、人間の悩みを解いてくれる法師さまでさえ「成金さん、友だちになろう」と願うことにもなると、この世の中に流れる拝金主義の意識や金持ちへの憧れが窺えるだろう。

9月に発売された米国アップル社のスマートフォン iPhone 5s には、従来の黒・白のほかに、新たにシャンパンゴールドのカラーが追加され、中国では“土豪金”と呼ばれ、黒、白よりも1000元(約1万6000円)ぐらい高価だが、なかなか入手できないのが話題になって、“土豪”の流行に拍車をかけた。

2. 中国大妈 (zhōng guó dà mā, 中国のおばさん)

2013年4月から6月にかけて、金相場が下落した間に、競うように金を買って占めた中国の中年の女性たちが“中国大妈”と呼ばれている。

“中国大妈”といえば、伝統的な価値観の影響を強く受け、かつての人民元の大幅な値下がりを経験から消せない集団であり、金でしか安心感を得られないイメージが強いが、一方で素朴な財テク意識を持ち、世界の金市場に影響を与える新鋭軍とも、米ウォール・ストリート・ジャーナルでは評価されている。

3. 女汉子 (nǚ hàn zi, 男子系女子)

“汉子”という言葉は、「男の中の男」という意味である。しかし、女性の社会進出が進み、周りの女性の中にも、細かいことにはこだわらず、まっすぐで明るく楽観的で、自分で責任をとれる、精神的に大変強い女性がいる。こういう女性のことを“女汉子”と呼ぶ。

ちなみに代表的な人物として女優の範水氷さんなどが挙げられるが、彼女はいつ豪族へ嫁入りするかと聞かれたとき「私が豪族」と答え、「範爺」(「～爺」とは地位がある男性への呼び方)と呼ばれるようになったエピソードが有名である。

日本の連続ドラマ『ラスト・シンデレラ』に出た「オヤジ女子」と似ているところがあると思われる。次に紹介するのは“女汉子”かどうかをチェックする項目である。“女汉子”と「オヤジ女子」はどれだけ共通しているの

だろうか。

①ミネラルウォーターのふたが空かないときは、助けてもらうより自分で力を入れてがんばって開ける。②暑いときは、家で裸になる。③時々「女ってめんどくさい」とため息をつく。④顔を上に向け、口を開けて袋の中のポテトチップを入れる。⑤親友としゃべる時やネットでは汚い言葉を使う。⑥夏でもエアコンのついていない店で火鍋を食べる。⑦飲水器のタンクを自分で換えられる。⑧ネットゲームなら「ウォークラフト」「英雄連盟」などをよくする。⑨夜遅いときは、お風呂に入ったり歯磨きなどせずにそのまま寝る。⑩化粧が嫌いで、自分撮りはしない。⑪男とすぐ仲間になれる。⑫外で食べる時は、よく足を組んだり振ったりする。⑬買い物などで街をぶらぶらするのがめんどくさい。⑭ヘアサロンやネイルサロン、美容院などにはめったに入らない。⑮リンゴは洗ってからそのままかじって食べる。⑯家にいる時は、顔も髪の毛も洗わない。⑰旅行に出る時は、荷物を自分で持つ。⑱甘い声を出したりなまめかしいしぐさをしたりする女性に反感をもつ。⑲ハイヒールを履いていても走って地下鉄やバスを追いかける。⑳男性が居合わせる席でも、大盛りの注文ができる。

4. 大V (dà V, 大ビッグ)

ミニブログの公式認証アカウントには、「V」マークがついている。ふつう、50万人以上の大勢のフォロワーやファンを持つ公式認証アカウントを“大V”と言う。転じてネット有名人の意として使われている。

大Vには有名な学者や芸能人、オピニオンリーダーが多いことから、そのアカウントだけで半分メディアになっているということもある。ミニブログで発表したことがすぐ話題になり、言論や言葉の流行をリードしている。

5. 高端大气上档次 (gāo duān dà qì shàng dàng cì, 高級で上品でレベルが高い)

人についていえば上品で教養がある、品物なら高級品だという意味である。もともと人気コメディドラマ『武林外伝』に出ていた台詞だそうで、架空

の時代にある架空の宿の料理人に、隣の金持ちが肉まんを注文した。その肉まんに対する要求はなんと“高端”（ハイエンド）、“大气”（上品）、“上档次”（レベルが高い）だった。

2013年に入ってから、インターネットやテレビのバラエティ番組などで頻繁に使われるようになり、大流行した。冗談半分にまたは皮肉に使う場合が多く、さらに、短縮した“高大上”の形でも使われる。

6. 我和我的小伙伴们都惊呆了 (wǒ hé wǒ de xiǎo huǒ bàn men dōu jīng dāi le, 私と私の仲間たちはみんなびっくり仰天した)

ある小学生が端午の節句の由来についてでたらめなことを書いたのがミニブログに載せられ、自ら書いたありえないでたらめに対し「私と私の仲間たちはみんなびっくり仰天したよ」と締めくくったのが面白がられ、流行し始めた。

自分がびっくりしたのに、あたかも大勢の人がびっくりしたかのように、ただ“小伙伴们都惊呆了”という形でも使われ、現在では、単に「びっくりする」という意味を大げさに表すのに用いられるようになった。

“我和我的小伙伴们都惊呆了”で文を作ってみると、次のようになる。

- (1) 看到我未来丈母娘开出的结婚费用清单，我和我的小伙伴们当时就惊呆了。(お義母さんが提出した結婚費用の明細書を見て、びっくり仰天したのよ)
- (2) 年终联欢会上抽中了一台 iPhone 5 土豪金，小伙伴们都惊呆了。(会社の忘年会で iPhone 5 シャンパンゴールドを抽選で当てちゃって、びっくりした)

7. 不明觉厉 (bù míng jué lì, 言ってることがよく分からないが、すごいなと思う)

周星馳監督の映画『食神』に出た台詞“虽然不明白他在说什么，但觉得好像很有意思”や日本のアニメ『ワンピース』などに出た台詞の訳文“虽然不知道你在说什么，但感觉好像很厉害的样子”の下線部の漢字を抜き出して文

を極端に短縮した表現である。映画やアニメのなかではすごい人に感心した様子を表すが、現在は相手の言っていることが大げさでよく分からないことを皮肉るのにも使われる。

一文を極端に短くし4文字に短縮した例は、2012年の“十动然拒”（“十分感动，然后拒绝了”）「とても感動した。そして彼を拒絶した」にさかのぼることができる。

それが2013年に入って、“不明觉厉”のほかに、“喜大普奔”（“喜闻乐见、大快人心、普天同庆、奔走相告”喜びを分かち合い、よい知らせを広げることを表す四つの四字成語の頭文字を一緒にした表現であり、時々軽い皮肉をこめて人の失敗を嘲ることもある）、“人艰不拆”（流行歌『嘘をつく』の歌詞に由来。“人生已经如此的艰难，有些事情就不要拆穿”「人生はそもそも辛いから、うそなどをあばかないほうがよい」）、“累觉不爱”（“很累，感觉自己不会再爱了”「疲れている。もう誰かを愛することはないと思う」）など、盛んに作り出されるようになった。

8. 雾霾 (wù mái, 煙霧／スモッグ)

気象上では「肉眼で見えないごく小さな粒子が大気中に浮遊し視程が10キロ未満の状態」であると定義されている。

「靄（もや）」の定義「大気中に低く立ちこめた細霧・煙霧など。気象観測では水平視程が1キロメートル以上の場合をいい、1キロメートル未満は霧」（『広辞苑』）と似ているが、しかし、その原因について追求してみれば、季節による大気状態の変化よりも、工場からのばい煙や自動車の排気ガスなどによる大気汚染が空気の質を悪化させた現象であると言えよう。冬によく現れる煙霧は、大気汚染の源とされるPM10とPM2.5（微小粒子状物質）に起因すると考えられている。

“十面霾伏”（有名な琵琶曲名“十面埋伏”をもじった造語）など、大都市の厳しい環境状況に対し政府や企業の責任を問うべきだと、「煙霧」をめぐるいろいろな新熟語も作られている。

9. 中国梦 (zhōng guó mèng, 中国の夢)

習近平国家主席が2012年の年末の談話で提唱した言葉。2013年に入ってから、中国の夢とアメリカン・ドリームについて比較したり、中国の夢はどうしたら実現できるかなどをめぐって、メディアや学者による論説が盛んに行なわれ、人々も関心を寄せている。

10. 光盘行动 (guāng pán xíng dòng, 完食キャンペーン)

“光盘行动”とは、2013年1月、北京にある公益組織によって提唱された食べ残しをしないように呼びかける行動で、レストランなどで食事をしたときに、食べ残した分は持ち帰るよう包んでもらい、お皿を空っぽにして店を出る行動を指す。

造語の方法として、“光盘”は空っぽを意味する“光”と、お皿を意味する“盤”からなっているが、すでに存在している「光ディスク」のことを意味する“光盘”を基にして作られた新語である。

国連の報告によると、全世界で毎年浪費される食物は13億トンに達し、全世界の食糧生産量の約3分の1を占めるそうだ。深刻な食物浪費は中国特有の現象ではないらしく、節約を唱え浪費に反対する風潮は世界中に広がっていくだろう。

11. 大黄鸭 (dà huáng yā, 巨大な黄色いアヒル／ラバー・ダック)

オランダの芸術家フロレンティン・ホフマン氏がデザインした、世界で話題を呼んでいる「ラバー・ダック」が今年5月に香港を訪れた後、9月には北京にも姿を現した。「ラバー・ダック」は2007年に高さ26メートルの最初の作品が誕生して以来、ホフマン氏と共にアムステルダムを発ってブラジル、日本、イギリスなど10カ国13都市を相次いで訪問し、行く先々で大変な注目を浴びていた。

なぜラバーダックがこうも人気があるのかというと、ラバーダックを見ると消えていた子供時代の思い出が浮かんできて感動するという声が多いからだそうだ。

12. 钱荒 (qián huāng, 現金不足／流動性逼迫)

流通領域における現金不足による金融危機の一種で、流動性逼迫のことである。春節を過ぎてから、銀行間市場の金利が2010年以来3度目に高い水準になっており、6月20日、中国銀行業にまた現金不足の問題が生じ、同日、銀行間の翌日物金利とレポ金利が13%超となり、翌日物レポ金利は30%の過去最高を記録した。流動性逼迫の状況がずっと続くと、すでに高い融資コストをさらに高め、実体経済に影響すると考えられている。

13. 比特币 (bǐ tè bì, ビットコイン／Bitcoin)

ビットコインは、インターネット上で流通している特定の政府や中央銀行に頼らぬP2P（ピアツーピア）ベースの仮想通貨のことである。2009年に Satoshi Nakamoto が提出した電子マネーシステムに基づいて運用され始めたという。

Bitcoin のすべての取引履歴はブロックチェーンと呼ばれる台帳に記録されているため、取引の整合性を誰でも検証することができる利点がある。また、この先100年の間は、2100万ビットコインしかないという希少性もある。

ビットコインの希少価格を見込んで現実の貨幣で購入し投機の対象とする人が出てきて、2013年11月にはついにビットコインの相場は1000ドルを突破。中国でもビットコインブームが現れた。

14. 棱镜计划 (léng jǐng jì huà, プリズム計画／PRISM)

プリズム計画は米国国家安全保障局（NSA）が2007年から行なってきた極秘監視プロジェクトのことである。2013年6月、NSA や米国中央情報局（CIA）の局員だったエドワード・スノーデン（Edward Snowden）の告発によってこの計画の存在が明らかになった。

ドイツやフランス、ブラジルなどの国家指導者が電話盗聴の対象になっていたなど、世界中の批判を浴びることになった。

15. 防空識別区 (fáng kōng shí bié qū, 防空識別圈)

2013年11月23日、中国政府は東海防空識別圏の設定を発表した。東海防空識別圏を認めないなどと日本やアメリカ、フィリピンから非難されたが、中国政府は客観的に公正妥当と受け止めるべきだと主張する。日中関係や米中関係の波瀾をどう乗り越えればよいか、話題になっている。

16. 单独二胎 (dān dú èr tāi, 单独二胎)

一人っ子政策が実施されて30年を超え、中国における出生率は1.6を切ったという。人口高齢化や男女出生比率の偏りの深刻化など、一人っ子政策の見直しを唱える声が年々高まってきた。2013年11月15日に、“单独二胎”(夫婦のいずれかが一人っ子の場合、二人目の子どもの出産が認められる)政策の実施が発表された。

正確に言えば、今回の政策は子どもの数が問題で“单独二孩”(dān dú èr hái) と言うべきだが、“单独二胎”のほうがよく使われている。

17. 社交媒体 (shè jiāo méi tǐ, ソーシャルメディア／社交メディア)

ソーシャルメディアのことである。人々が自由に書き込み、共有、評論、ディスカッション、コミュニケーションするためのサイトや技術を指す。

パソコンだけでなく、スマートフォンの普及につれ、人々はソーシャルネットワークサイトに日常的にアクセスしており、自分の居所、活動、意見などを全世界に公開する状態になっている。

ソーシャルメディアはEメールやBBSの段階から始まったと言えるが、現在最も利用されるものはブログ、ポッドキャスト、ツイッター、Facebook、YouTube、中国特有の微博(ミニブログ)、微信(ウィーチャット)などである。これらの技術で一人ひとりの個人が情報の発信者となり得て、従来のマスメディアとは大きく異なる情報伝達の形式になっている。ソーシャルメディアの進化により、“自媒体”(zì méi tǐ, 個人メディア／We the Media)時代が本格的やってくるのではないだろうか。

18. 自拍 (zì pāi, 自分撮り (写真) / セルフィー)

デジタルカメラやカメラ付きケータイで自分の映像を撮るのが、もはや日常茶飯事のようにになっている。スマートフォンで取った写真をそのままソーシャルネットワークサイトにアップロードし、友人などと共有することが頻繁になってきた。中でも、アメリカのファーストレディなど有名人も自分撮り写真を公開している。そのため、自分撮り (写真) という言葉の使用もどんどん盛んになってきている。

19. 春运神器 (chūn yùn shén qì, 春運の神器)

春運の神器とは、春節の帰省ラッシュの長い旅に備える、オストリッチ・ピロー (ダチョウ枕)、折畳み式椅子、“硬座宝” (二等席に座ったまま寝れる譜面台に似た就寝用のスタンド) などの道具を指す。

寝台券はおろか、時には二等席の指定券一枚さえ入手できない春節のラッシュ時期に、ようやく手に入れた二等席の座席または通路で、あるいは列車をやめて長距離バスの狭い空間で長時間過ごしななければならない人たちにとって、「春運の神器」はまさに欠かせない神器となっている。

20. 闯黄灯 (chuāng huáng dēng, 黄信号無視)

2013年1月1日から、いわゆる史上最も厳しい交通ルールが施行された。黄信号を無視して交差点を渡った場合、赤信号同様罰金罰点を科されるという規則が、大きな論争を巻き起した。中国式道路横断と同じように、自動車運転手側のマナーやルール意識も強化されるべきだと思われる。

流行語の使用は年齢差や性差、地域差などが見られると思われる。正確な調査とは言えないかもしれないが、今回は各地の新聞サイトで上述の新語流行語をキーワードに調べた結果、表1に示したように地域差が見られた。

全体的に見れば、最も有名な全国紙のサイト“人民网”におけるヒット数が最も多く、それに次ぐのは、西北地方の中核都市西安市の代表的な新聞サイト“华商网”である。それに対して、東部や南部のヒット数はほとんどの

表1 各地の新聞サイトに使われる流行語の様子

	人民网 (北京)	华商网 (西安)	金羊网 (広州)	扬子晚报 (南京) ¹⁾
土豪	20,575	25,600	2,712	3,318
土豪金	3,556	2,310	603	600
中国大妈	4,002	53,200	569	398
女汉子	7,750	6,960	749	3,414
大V	6,065	5,000	678	268
高端大气上档次	3,146	4,170	567	727
高大上	846	356	217	257
小伙伴们都惊呆了	1,712	2,010	287	377
不明觉厉	486	257	77	130
十动然拒	394	134	54	56
喜大普奔	553	415	88	119
人艰不拆	538	259	70	83
雾霾	52,780	60,800	4,335	4,353
十面霾伏	859	1,060	134	55
中国梦	81,058	19,300	4,928	6,391
光盘行动	2,777	4,770	202	212
大黄鸭	3,733	1,370	196	227
钱荒	7,988	1,580	1,840	856
比特币	2,176	446	480	239
棱镜计划	499	2,980	323	38
防空识别区	5,253	3,070	580	519
单独二胎	2,055	4,930	343	221
社交媒体	9,812	14,400	1,453	1,607
自媒体	11,107	2,310	909	793
自拍	32,741	46,100	5,524	4,475
春运神器	229	20,300	13	23
闯黄灯	2,711	17,000	296	408

2013年12月21日24時現在のヒット数

注1) 上海市の“新民网”を利用し東部の新聞サイトの使用状況を把握しようとしたが、サイト内の検索ができず、南京市の“扬子晚报网”を利用することにした。

語句で桁違いに少ないことが分かる。

参考サイト

- [1] 互动百科：<http://www.baike.com/>
- [2] 百度百科：<http://baike.baidu.com/>
- [3] 人民网：<http://www.people.com.cn/>
- [4] 人民網日本語版：<http://j.people.com.cn/home.html>
- [5] 央视网：<http://www.cntv.cn/>
- [6] 国际在线 CRIOnline：<http://gb.cri.cn/>
- [7] 中国網日本語版：<http://japanese.china.org.cn/>
- [8] 人民中国日本語版：<http://www.peoplechina.com.cn/>
- [9] サーチナ：<http://searchina.ne.jp/>
- [10] レコードチャイナ：<http://www.recordchina.co.jp/>
- [11] ウィキペディア：<http://www.wikipedia.com>
- [12] 华商网：<http://www.hsw.cn/>
- [13] 新民网：<http://www.xinmin.cn/>
- [14] 扬子晚报网：<http://www.yangtse.com/>
- [15] 金羊网：<http://www.ycwb.com/>

趙蔚青 Zhao Weiqing 西安交通大学外国語学部准教授 専門：社会言語学、日本語学